

# 2019年度受講生の声

草津街あかり・華あかり・  
夢あかりプロジェクト  
経済学部 山園愛里彩



このプロジェクトは、街あかりというお祭りの企画の一部を自分たちで考案し、実践するものです。私はこのプロジェクトに参加して、**地域のコミュニティを作ることの大切さ**を学びました。草津駅周辺の商店街や寺院などのインタビューや、そこで出た課題の解決などを通して、行う企画の内容を受講生みんなで話し合います。日常生活では味わえない貴重な経験ができ、自分自身の成長にも繋がると思います！地域の活動などに興味がある方はぜひ受講を検討してみてください。



皆様へ

あなたは、**匿名性を帯びた集団（≒大衆）**の一員になっていませんか。地縁・血縁が薄れている今の時代に鑑みると、それが多数派であり、決して悪いことではないかもしれません。

しかし、**“市民”**として自覚的に、地域課題に正面から向き合い、解決を図る人びとも少なからず存在します。あなたは、彼らからの恩恵を少なからず享受しているでしょう。

そこで、あなたも、草津の地域課題解決を目標にして、**市民としての倫理観や責任感（≒シチズンシップ）**を向上させてみませんか。きっと、立派な“市民”になることができると思います。

わたくしも、当授業受講を皮切りに、地域社会に貢献すべく、いくつかの活動を始めています。

あなたの受講をお待ちしています。

# プロジェクトを通して学んだこと

経済学部 栗須谷 壮真

- 地域の方とのコミュニケーションの大切さ
- 人の繋がりを生む難しさ
- クイズラリーを作成するにあたり、商店街の事を深く知った



街の人とお話したり、活動したりする中で  
草津の街を身近に感じ、街の人と共に活動できる喜びを感じました!!



当日の様子



商店街インタビュー

BKCに通う人にとって草津市は身近な場所です。しかし、私はこのプロジェクトに参加するまでは身近に感じたことはありませんでした。このプロジェクトに参加し、実際に商店街の人とお話しし、お祭りの準備を行う中で、自分が街の人と共によい企画を作れることを嬉しく感じました。

人によってこのプロジェクトに参加し、感じることは異なると思いますが、**実際に見て、聞いて、活動をすることで、今までにない価値観を知ることができるのではないかな**と思います。少しでも気になる方はぜひ挑戦してみてください。

# プロジェクトを通して…

このプロジェクトに一年間携わっているいろんなことを学びました。

## ・地域に関わることの大切さ

街にはいろいろな人が住んでいます。その人々とお話してみると、この草津の街で、大学生として生活している私たちに「何かできること」がたくさんある、ということに気づきました。

## ・意見を合わせることの難しさ

街の人にも、大学生にもいろいろな意見を持った人がいます。その人たちと一緒に話をして、企画を作り上げていくには時間も労力もたくさん必要でした。

## ・創ったものを楽しんでもらえる喜び

子供たちが目をキラキラさせながらクイズを答えてくれる…  
通りががった人たちが展示を見て写真を撮ってくれている…  
そんな姿を見て、「大変だったけど、やってよかったな」と感じました。

…なんて、難しく書いていますがとても楽しい経験でした！

ここでの経験は実際に自分の足で向かって、目で見ても、話を聞かないと実感できないものばかりです。

少しでも興味を持ったなら、ぜひ挑戦してみてください。

**「まちあかりっつ」の仲間になってくれることを楽しみにしています！**



A night festival scene featuring a large wooden structure, possibly a torii gate, heavily decorated with strings of multi-colored lights (blue, green, purple, yellow, red) and large, colorful, spherical ornaments. People, including children in winter coats, are visible in the foreground and background, enjoying the event. The background shows a cityscape with lights at night.

シチズンシップ・スタディーズ I  
草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト  
受講へのいざない

# 活動地域について



## 活動地域の特徴

- **東海道**と**中山道**の合流(分岐)点  
→昔から交通の要所。**歴史**のある地。
- **商店街**がある。  
→少し**寂しい**感じがする。
- (一方で)人口が**増えている**。  
→商店街周辺でも**マンション**が複数ある

㊦ 追分道標(東海道・中山道の分岐点)

㊧ 草津宿本陣畳廊下



# 草津街あかり・華あかり・夢あかりとは

- 毎年11月上旬の2日間、夕方～夜に行われるお祭り
- 2日間で約3万人が来場
- 「あかり」がテーマ
- 草津駅東側商店街・de愛ひろばを中心に様々な商店や寺院などが参加
- 今年で17回目
- 受講生も企画に参加



地元の方によると、草津街あかりは、本来、草津宿周辺の静かで厳かな夜の雰囲気を楽しむお祭りであったという。しかし、最近は、騒々しいお祭りになりつつあるようだ。

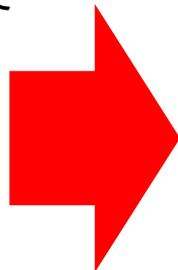
※当プロジェクトの受入先は、草津市商工観光労政課です。

# (昨年度の)活動内容

企画(昨年度の詳細は次項~)

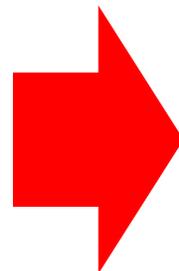
話し合いにより、企画やその内容を決めていきます。

地域課題にも積極的にアプローチしていきます。



街あかり当日に向けての準備  
やらねばならないことはたくさんあります。  
本番直前になって焦ることのないように！

街あかり当日に企画を遂行します。



## 反省、振り返り

サービスラーニングにおいて、  
もっとも大切なことです。  
自分の学びを言語化することも  
忘れないように。  
他プロジェクトとの合同発表会  
もあります。

# 昨年度の企画①

- チェックポイントは5つ（交渉に行きます）
- 商店街を回って作成したクイズに回答してもらう
- 幅広い世代の人が参加（大人用問題も用意）
- 景品には手作りキャンドル（夏休みに制作）
- 2日間延べ約1200の方が参加

## クイズラリー



## 昨年度の企画②

# スカイランタン

紙風船に（草津に対する）想いを書いてもらう



紙風船を風船に取り付ける



# 打ち上げ！

延べ231人が参加



紙風船の展示（想いを参加者  
同士で共有した）



地図（待ち時間に好きな場所  
を付箋で貼ってもらった）



# 体感できること



## 地域社会の一員に

- 単なる学び舎ないしは寝床の地であろう草津を再発見することができる。
- 地域課題を見つけ、解決を図ることができる。



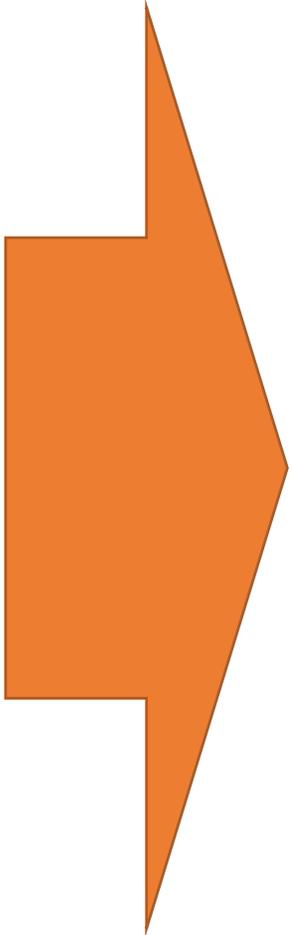
## 様々な方々との交流

- 実行委員、行政職員、地域住民など普段接することのない方々とつながりを持つことができる。
- 受講者同士でチームワークを形成することができる。



## 事業を立案し、遂行する

- トライ・アンド・エラーを重ね、イベントの成功に寄与することができる。
- 事業に携わることになる故、責任感を養うことができる。



シチズン  
シップの  
向上

皆様の受講をお待ちしております

プロジェクト名:

## 草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト

受入団体名:草津市 商工観光労政課

募集人数

# 10名程度

### <受入団体からのメッセージ>

「草津街あかり・華あかり・夢あかり」(以下街あかり)は、2日間で約3万人が来場する「街歩き」イベントです。街あかりのコンセプトは「草津の魅力再発見」。普段は何げなく通り過ぎていた道をあかりで装飾し、楽しみながら街なかを散策し草津の街にある魅力的な資源(商店・寺・神社・街並・飲食店等)を市民の人に知ってもらうことが目的です。

実行委員には地域の方が集まります。みなさんには「しなければならない決まった何か」はありません。

みなさんの目標は「草津のファンを増やす」こと。そのために草津がどんな街か知ってみなさんでアイデアを出し合い、地域と力を合わせて準備・運営をしていただきたいと思います。

地域の一員として活動することで、みなさんにとって草津が“ただ住んでいるだけ以上のまち”になることを期待します。

<活動期間: 2020年5月頃～ 2020年10月下旬>

<主な実習場所>

草津市役所・くさつ夢本陣(最寄駅・バス停など:JR草津駅)

<日常的なコミュニケーションの手段>

(○)電子メール ( )Facebook (○)LINE (○)電話

<活動する現場で学生が求められる理由>

地元企業や町内会長などを中心に地域の方によって構成される実行委員会を中心に実施されている催事です。

草津の街には、古くから発展したエリアと新規開発で成長したエリアがありますが、新しいエリアで活動する皆さんが古くからある「草津」へその一員として活動する事で、実行委員会に新しい風を吹き込み、「地域」×「行政」×「学生」で地域活性化を目指します。

<活動パターン>

( ) 毎週1日程度・定例

(○) 月1～2回・不定期

( ) 主に夏期休暇・集中

( ) その他

→具体的には…

街あかり当日が近づいてくると、直前の準備など活動頻度が高くなってきます。

## <活動のテーマと主な内容>

# 未来のためにまちづくりの手法を体感する

### 昨年の活動内容

#### 商店街インタビュー

街あかりの企画を前に商店街の方々のところへ出向き、現在の商店街の課題や街あかりへの思いなどをインタビューしました。

#### クイズラリー

街あかりの恒例となっている人気イベントです、街なかの複数の箇所にクイズを設置し、回答者には学生手作りのキャンドルをプレゼントしました。当日の運営、景品のキャンドル作り、クイズ設置個所の検討、設置場所の関係者との交渉、クイズラリーの台紙作成・印刷の発注などを行いました。

#### スカイランタン

来場者の方に商店街への想いを書いていただいた紙風船にLED電球を入れ、風船に添えて夜空に打ち上げました。多くの人に参加していただけるよう、当日の流れ等を入念に確認し、何度も実験を繰り返して準備に取り組み、当日は大盛況となりました。

#### その他

街あかり実行委員会へ出席してもらい、学生の行っている企画内容、進捗状況を説明してもらいました。



スカイランタン



クイズラリー

## <期待できる学び>

・「まちづくりにおける担い手の役割を体感する」

準備・企画期間の過程において、「地域活性化」や「まちづくり」に携わり、現地・現場での進め方を体感できます。

・「社会人との活動」

実行委員は地元企業の社長や町内会長であり、市職員だけでなく商工会議所の方を含めて、サークル等普段の学校生活の範囲を超えた人とのつながりや社会の通例を体感できます。地元の方へのヒアリングなども行います。

・「組織として行動する」

まちあかりつつが機能した組織となるよう、考えて行動することで自らの行動や仲間への働きかけ方を考えるきっかけとなります。

<活動の流れ>

5月～6月

**現地調査  
顔合わせ、実施内容・スケジュールの検討**

街あかりの会場となる草津  
駅周辺の街並みや雰囲気  
を  
実際に見て感じてもらいます。

また、「街あかり」のイベント  
内容も説明させていただきます。

※4月26日「草津宿場まつり」の、  
参加(見学)を推奨します。



7月～8月

**企画立案・スケジュールの確定**

実際に街あかりに行く企画を考えてもらいます。前年  
までの取り組みを引き継ぎながらも、今年度の受講生の  
個性を生かした新しい内容を期待しています。  
企画の内容は適宜精査し、進捗状況を確認し、状況に  
応じては企画内容の軌道修正も必要です。

9月中旬

**企画内容の確定**

パンフレット作成のため、この時期には企画内  
容が確定する必要があります。ここまでに決  
まったことは当日の実行確定！

夏休み期間に各々が作業を進められるかが  
後々の作業量に反映されていきます。

<活動の流れ>

(9月～)10月

**当日に向けて準備・学内へのPR活動**

まちあかり当日に向けてラ  
ストスパート！

必要物品の確保、当日ポ  
ランテニアの手配などなど。

学内でのPRをして まち  
あかりつつにしかできない  
事をする年もあります。

また、街あかりのPR活動  
として、メディアの出演をす  
ることもあります。



10月下旬

**街あかり当日**

いよいよ街あかり当日です。

これまでの準備の集大成として

来場者のみなさんを笑顔に！



<受講生に求めること>

費用	活動場所までの交通費(主にJR草津駅や草津市役所周辺)
参加の姿勢	<p><b>「参加する事」</b></p> <p>組織に名を連ねる事、現場に居合わせるだけで参加しているとは言えません。組織の中で役割を果たし目標に向けて必要な事を考え遂行する「自主性」や「遂行力」を求めます。活動では、経験のない初めての課題がたくさんありますが、挑戦する気持ちで積極的な参加を求めます。</p> <p>また、他の学業などにより時間の確保が難しいことは理解しますが、仲間同士が直接顔を合わせ、話し合い、自らの手を動かすことを重視します。</p>
終了後の評価	上記の姿勢をもとに、出席状況を考慮して判断します。

<その他、プロジェクト実施にあたって期待すること(教職員も含めて)>

<p><b>・「草津の街を知る事」</b></p> <p>街あかりを通して、草津を知り、知り合った人に自分の言葉で紹介できるようになること。 街あかりをきっかけに多数ある市内の活動がある事をまず知ること。</p> <p><b>・「人とのつながりをつかむこと」</b></p> <p>SNSや電話だけでは築けない信頼関係や人とのつながりを、打ち合わせや製作などの作業を通して生み出し、街あかりの成功、自身の成長へつなげること。</p> <p><b>・「企画実行力」</b></p> <p>街あかりを舞台に学生の皆さんが自ら考えた企画案を、自らでスケジュール管理し、自らの手で試行錯誤しながら形にしていく過程を学ぶことを求めます。</p> <p>その中でSLCをはじめとする関係者の皆さまには、受講生・受け入れ先との連絡を密にし、彼らの進捗や課題に対してサポートや助言をいただければと思いますので、ご協力お願いします。</p>
---